

ひのみやから



No.27

平成21年3月

発行

鶴岡市消防団
藤島方面隊広報委員会



9月6日に行われた藤島地域総合防災訓練

藤島小学校周辺を会場に藤島地域総合防災訓練が行われました。
大規模災害に備え、参加したみなさんも真剣な表情で訓練に取り組んでい

主な記事

- ◎藤島方面隊1年のあゆみ
- ◎特集
災害対策特集
「その時に備えて!!」
- ◎梯子乗り・纏振り保存会
- ◎藤島分署よりお知らせ
- ◎ファイヤーエンジェルズ
- ◎班紹介『上藤島』『上荒俣』、事業予定など

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

(平成20年度 全国統一防火標語)

藤島方面隊 あゆみ

4/22 初任消防団員 研修会



藤島体育館と芝生広場を会場に初任団員研修会が開催され、初任団員44名が参加しました。

藤島分署員とファイヤー・エンジエルの指導の下、心配蘇生法とAEDを使用した普通救命講習を受けた後、藤島方面隊幹部から訓練礼式・器具操作の基礎を学びました。初任団員全員がとても真剣に受講していました。

この経験を生かし、消防団員としてこれからの活躍が期待されます。

5/31 春季消防 大演習



あいにくの空模様のため、藤島体育館に会場を移し、阿部方面隊長を総指揮者に507名の団員・婦人防火クラブによる春季消防大演習が開催されました。

普段の訓練の成果と藤島方面隊の消防力を披露するには狭いスペースながらも各部隊訓練など規律ある迅速な動きで行われました。操法展示、祝賀放水が行えない分、梯子乗り・纏振り演技で華を添え、会場に訪れた方々に鶴岡市消防団藤島方面隊の消防力・士気の高さをアピールできました。

7/8 藤島方面隊 消防操法大会



消防団員にとって1年のうちで最も熱い1日と言っても過言ではない、藤島方面隊消防操法大会。

全ての消防班が参加できる訳ではなく、今年は全体の3分の1、自動車ポンプ1台、小型ポンプ17台が臨みました。出場班はこの日のために、数ヶ月前から厳しい訓練をしてきました。操法とは、火災現場で、『早く』『安全』

審査会の結果

■小型ポンプの部

- 1位 添川2班 (3-1-2)
- 2位 上藤島 (5-1-4)
- 3位 下中野目 (2-2-1)
- 4位 上荒俣 (5-3-3)
- 5位 温泉・西小路 (4-2-2)

■最優秀操作員賞

《小型ポンプの部》

- 指揮者 澁谷弘樹 (添川2)
- 1番員 上林 司 (上藤島)
- 2番員 奥山康光 (小中島)

- 3番員 上林 洋 (上藤島)
- 《自動車ポンプの部》(減点0)
- 指揮者 大沼泰和 (4分団)

に『『確実な』消火活動を行うための基本的な所作(動作)の事です。当日は、夏本番の厳しい暑さと、多くの団員が注目する中、今まで訓練してきた成果を遺憾なく発揮しようと、緊張の面持ちを浮かべながらも、堂々と操法を展開しました。審査(操法)の終わった班には、会場から労いの拍手が送られていました。

8/5 山形県消防操法 庄内支部大会



真夏の日差しが降り注ぐ中、県消防学校屋外訓練場に庄内各市町の代表(自動車ポンプ10台、小型ポンプ13台)が集結し、庄内支部操法大会が開催されました。藤島方面隊の代表班(自動車ポンプ/表小路、小型ポンプ/添川2班)は、大会まで藤島分署員や団幹部の指導を得ながら厳しい訓練を積み重ねました。大会では自動車ポンプ・小型ポンプ共に上位入賞を果たし、藤島方面隊の実力を存分に発揮しました。



出場した団員の皆さん、お疲れさまでした。また、昼夜を問わずご指導いただいた藤島分署員の皆様、そしてご協力いただいた地域やご家族の皆様に、心より感謝を申し上げます。

鶴岡市消防団 一年の

はじめに、藤島小学校児童・職員、自主防災会による避難訓練・バケツリレーによる初期消火訓練が行われました。

庄内平野東縁断層帯を震源とする大地震が発生したという想定により、藤島小学校周辺で総合防災訓練が行われました。



児童による応急手当訓練では、本番さながらに負傷者の患部を止血・固定していました。



やドアを取除き負傷者を救出。その見事な作業には、救出に一刻一秒を争う救助のプロ意識を感じました。

消防団員による大規模火災防御・延焼阻止訓練では日頃の訓練の成果を十分に発揮。迅速な消火活動に、沿道で見えていた児童らは真剣な表情。



今回総勢約770名が参加し、防災訓練を実施しました。一人一人が自分のやるべき役割を理解し訓練に取り組んだことにより、防災意識を高め、災害に強いまちづくりにつながったと思います。

コプターから隊員がロープで降下し救助する様子は、緊急時には大変心強いものだと感じさせられました。給水訓練では、月山水道企業団よりリュック型の給水袋説明を受けました。給食訓練では、婦人防火クラブの炊出しでおいしいおにぎりが配られました。交通規制訓練も実施しており、災害時にスムーズな消火・救出活動ができるように車輛等の誘導を行いました。



例年に無く穏やかな天候のもと、新春恒例の藤島地域消防出初式が藤島公民館を会場に行われました。

初めに、公民館の大ホールにおいて、藤島地域の無火災と安全を願う厳かに神事が行われました。引き続き公民館前にて「観閲」が行われ、次いで団員による「祝賀放水」「梯子乗り纏振り」が披露され、会場で見守る大勢の市民の皆様より温かいご声援を頂きました。

最後に参加した全団員とポンプ車による整然とした分列行進を行い、鶴岡市消防団のトップを切って消防活動がスタートしました。

災害対策特集 その時に備えて!

私たちが住む藤島地域には「庄内平野東縁断層帯」と呼ばれる活断層があります。この活断層が原因で地震が発生すれば庄内地方のほぼ全域で震度6以上の地震が予測されています。藤島地域はほぼ中心に位置しており、過去の地震発生周期から予測して、今後30年間のうちに0%〜6%の確率でM7.5規模の地震が起こるとされています。数字の捉え方は人それぞれ違うでしょうが、阪神・淡路大震災も同じ0%〜6%であったと言われています。そこでみなさんに日頃からの準備の大切さを伝えなくてはならないと思い今回あえて特集記事として取り上げました。

『備えあれば憂いなし』地震などの災害から身を守るために、今からできることを家族のため、自分ため、もう一度準備と確認をしましょう。

実際に災害にあった場合を想定し、次の事を確認しておきましょう。

◇下表に示したように町内会毎に一次避難場所として指定されている場所があります。避難経路の確認をしておきましょう。

◇災害発生時は携帯電話がほとんど機能しません。左図に示した災害用伝言ダイヤル等、どのような方法でお互いを確認するかなど家族間でも話し合いを設けてください。

◇持ち物は最小限にし、車での移動は避け徒歩で移動しましょう。持ち物の目安は3日分、「あれば便利」より「無いと困る」物を準備しましょう。

◇地震直後は建物やブロック塀が崩壊する危険があります。そばには近づかないようにし、周辺の状況に注意しながら行動しましょう。

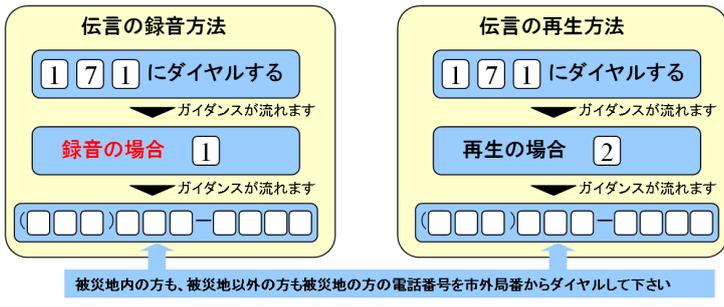
◇大規模な災害が起きたときは「自助、共助」が大切です。近所で声を掛け合い、安否の確認・消火

活動や救助活動を協力して行いましょう。おわりに、地震はなくすことはできませんが、被害を最小限に抑えることは可能です。近年大規模地震が頻発していますが、過去の教訓を風化させることなく役立て、地域をあげて「減災」に努めましょう。

覚えてください 災害時の声の伝言板 忘れて171

災害伝言用ダイヤル 171

大規模な災害時には被災地への通話が集出し、電話がつながりにくくなります。こんな時に役立つのが「災害用伝言ダイヤル171」です。これは、被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方がお聞きいただけるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。



藤島地域の主な一次避難場所

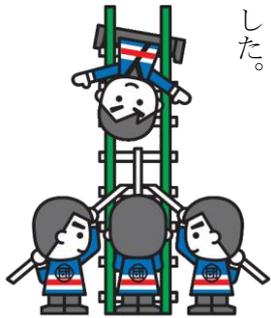
No	施設名	所在地	主な避難対象地域
1	藤島小学校グラウンド	藤の花二丁目1-1	藤島地区
2	東栄小学校グラウンド	川尻字町上15-1	東栄地区
3	長沼小学校グラウンド	長沼字宮前163	長沼地区
4	渡前小学校グラウンド	渡前字中屋敷1	渡前地区
5	藤島中学校グラウンド	藤島字笹花86-1	全地域
6	農村環境改善センター運動広場	添川字新地307	添川
7	駅前児童公園	上藤島字備中下50-2	駅前
8	笹花公園	藤島字笹花48-13	中町
9	藤島南部児童公園	箕升新田字大谷地1-1	宝徳・箕升新田
10	藤島こども広場	藤島字向楯跡65-1	新町
11	藤島河川公園	藤島字川向98	新町
12	八色木農村公園	八色木字西野102	八栄島地区
13	三和農村公園	三和字本田前40-1	三和
14	和名川農村公園	和名川字南田12-1	和名川、砂塚
15	添川農村公園	添川字池苗代33-2	添川
16	東堀越農村公園	東堀越字中田3-1	東堀越

※ 一次避難所とは、災害時に市民が自発的に避難する場所



江戸の頃に始まって今も全国津々浦々で行われる出初式、その中で加賀鳶梯子で名をはせる金沢市消防団の勇姿を目の当たりにできた充実の見学でした。

当日はあいにくの雪模様でしたが、始まる頃には雪もやみ、居並ぶ千人以上の式典は粛々と進められ、身



も引き締まった頃合いに、いよいよ加賀はしごの演技披露です。たてられた47本の梯子はおさえる団員の手でまっすぐにのび、その整然さは乗る人待っているように見えて、とても心躍りました。演技が終わるとふんどし一つで一斉放水です。50もの筒先からの放水は観客ごと会場を水に包みましました。勇壮で華麗な纏と梯子、豪快なふんどし放水は伝統と防災の心意気を強く感じさせてくれました。

はしご まとこい 梯子乗り・纏振り保存会 金沢市出初式研修視察

金沢市出初式を見て

梯子乗り隊員 小野寺 一貴

とにかくすげえ！

梯子乗り隊員 齋藤 謙介



とにかくすげえ!!

47本もの梯子が立ち並び、その上で披露される演技。雪が降る中ふんどし一丁で豪快に纏を振る纏振り。演技者と支え手との信頼感。金沢の梯子登り隊員の俺を見る! という熱気がかなり伝わってきました。

自分も刺激されて新技に挑戦したいという野望が芽生えています。"粋"という言葉を実際に体感したような気がしました。

藤島の梯子乗り・纏振り保存会でももっと盛り上げていって"粋"な演技を披露し"すげえ"と言われるように努力したいと思います。

■梯子乗り隊員■
代表
原田 正彦

飯鉢 哲夫
栗田 幹
石川 安彦
齋藤 直八
小野寺 一貴
本間 丈裕
太田 晃二
叶野 勇一
齋藤 謙介

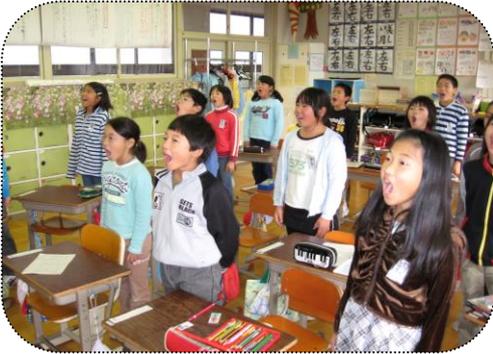
■纏振り隊員■
代表
板垣 一紀

菅原 和彦
高橋 大輔
布川 嘉浩



長沼小学校児童

昨年度の東栄小学校児童による防火広報が好評で今年度は長沼・渡前小学校児童から協力して頂きました。消防車両が巡回する際に防火広報を子供たちの声で呼び掛けることで住民の防火意識を高めるために企画したものです。児童全員か



渡前小学校児童

ら「火の用心」と発声した後、一人ずつ順番に防火標語を元気一杯の声で吹き込んでくれました。両校児童による防火広報は、火災予防運動のほか藤島地域を巡回する際に活用させて頂きます。ご協力ありがとうございます。

火災予防は私たちの声で！
長沼・渡前小学校児童が防火広報に一役！

鶴岡市消防署より 藤島分署より



鶴岡消防
マスコット
てんじんくん

火事・救急・救助
局番なしの 119

火災から家族と住まいを守る住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅火災による死者の約6割が逃げ遅れによるものです。死者が発生した火災を時間帯別に見ると、22時から翌朝6時までの睡眠時間帯における割合が45%と約半分を占めております。素早く火災の発生を知っていれば、助かった場合も多いと思われれます。

さらに、その半数以上を高齢者が占め、今後の高齢化の進展とともに死者が増加することが考えられます。このような状況を踏まえ、住宅火災による死者を減少させることを目的として消防法が改正されました。いつ設置するの？
消防法及び火災予防条例に基づいてすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



● 設置が義務付けられている場所 (寝室・階段)
● 設置をおすすめしている場所 (台所)

○新築住宅
平成18年6月1日から設置となっています。

○既存住宅
平成23年5月31日までに設置が義務付けられます。

どこに設置するの？

○条例による「寝室」・「階段」などの設置義務のほか台所等にも設置するよう努めてください。

※ 住宅用火災警報器は、防災設備取扱店などで購入できます。

消防署では販売しておりません。悪質な訪問販売にご注意ください。

お問合せは、

消防本部予防課

TEL 22・8332

藤島分署

TEL 64・2139

ファイヤーエンジェルス 結成から10年目を迎えて

10年目を迎え、これまでの活動を振り返ってみたいと思います。

- H 11・10 女性消防団結成
- H 11・11 新女性消防団員入団(高橋)
- H 12・1 初の活動、出初式(※)
- H 12・4 一人暮らし老人宅訪問(※)
- H 12・5 春の火災予防運動街宣(※)
- H 12・7 春季消防大演習(※)
- H 12・9 消防操法大会(※)
- H 12・12 藤島町防災訓練(※)
- H 13・3 消防団広報委員会(※)
- H 13・9 女性消防団総会(※)
- H 13・10 第7回全国女性消防団員活性化山口大会
- H 14・8 県女性消防連絡会議(※)
- H 14・8 第8回活性化大阪大会

- H 16・10 新女性消防団員入団(庄司)
- H 17・1 榊引町女性消防団と交流会
- H 17・6・7 小型ポンプ操法練習会



- H 15・9 第9回活性化愛媛大会
- H 16・4 初任消防団員研修会(※)
- H 16・4 応急手当を指導
- H 16・4 定例会(活動報告等)(※)
- H 16・5 春季消防大演習にて女性団員が梯子乗りを初披露(※)
- H 16・6 第10回活性化山形大会

- H 17・10 第11回活性化富山大会
- H 17・11 幹部研修参加
- H 18・7 鶴岡・榊引・温海・舟形女性消防団員と交流
- H 18・7 鶴岡・榊引・温海女性消防団員と交流会(年2回)(※)
- H 18・11 第12回活性化群馬大会
- H 19・6 鶴岡市水防訓練(※)
- H 19・6 消火栓からの操法練習会
- H 19・11 第13回活性化熊本大会
- H 20・6 第14回活性化北海道大会
- H 20・10 県消防60周年記念式典
- H 21・1 鶴岡市消防出初式(※)



注(※) 印は毎年の活動として継続しています。

女性消防団が結成されてから早10年という節目を迎えることができました。団長をはじめ消防団の皆様、藤島分署の皆様のご指導があったからこそ私達が目的を見つけ活気ある活動ができたと感じています。そして私達の我がままを受け入れてくださったコミュニティ防災班の方々。皆様には直接お礼を申し上げます。この場をお借りし感謝申し上げますとともに、今後ともご指導頂けますようお願い致します。

藤島地区の皆様へお願い

私達は入団してすぐに応急手当普及員の資格を取得しました。現在は初任消防団員研修会での指導、防災訓練での展示をしております。この活動に力を入れていきたいと考えておりますので、自主防災会、サークル等の事業に呼んで頂ければ参加したいと思っております。皆様のお役に立てることが私達の活性化につながります。ご協力をお願いいたします。



女性消防団員募集

鶴岡市合併により、市内にお住まいの方であれば誰でも参加できるようにになりました。皆様の知人・友人に「やってみたい」と思っている方はいませんか？是非お知らせください。広く募集しております。

【事務局】
藤島庁舎総務課
コミュニティ防災班
Tel 64・2111



～班紹介～

第五分団第一部第四班
(上藤島)

「操法大会を通して」

班長 高橋 竜太

三年ぶりの操法大会出場
で、大きな不安の中で練習
を開始しました。「やるから
には上位入賞を目指して」
と、団員の間で意思統一を
して、日々の練習に臨みま
した。操作員の平均年齢が、
大会出場班中で「おそらく
一番高いのでは？」という
事が、逆に頑張りにつながり、
大会当日まで、ほぼ毎日の
ように練習に取り組みまし
た。我々の練習に付き合っ
て、指導して頂いた分団幹
部の方々や班OB、更には
地元地域の方々のお陰で、
二位という好成績を挙げる
事が出来ました。

第五分団第三部第三班
(上荒俣)

「一致団結した操法大会」

班長 小野寺 寛

私達の暮らす上荒俣町内
会は、戸数二十四戸の小さ
な集落です。団員全員が会
社員で、交替勤務をしてい
る団員もおり、全員集合す
る事が困難な状況の中で活
動をしています。

この貴重な経験を地域の
安全に生かせるように、
日々消防団
の活動を頑
張って行き
たいと思っ
ます。



昨年夏に行われた操法大
会では、操作員全員が操法
初心者という状況の中で練
習を開始し、一週間前から
は朝の練習に加え夕方も練
習を重ねました。分署員と
分団幹部の方々の熱心な指
導と、何より団員の「勝つ
ぞ!」という強い意識があ
ったからこそ、四位入賞と
いう成績を収める事が出来
たと思います。

今回の操法大会を通して、
団員の団結力・行動力・精
神力がより一層向上したと
思うし、大変貴重な経験と
なりました。この経験を今
後の消防団活動に生かして
行きたいと思えます。

鶴岡市消防団藤島方面隊

広報誌「ひのみやぐら」第27号

編集・発行／藤島方面隊広報委員会(事務局：鶴岡市藤島庁舎総務課コミュニティ防災班内)

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25 TEL:0235-64-2111 FAX:0235-64-4280

URL: http://www.city.tsuruoka.lg.jp/501100/

防災車更新

今年度、藤島庁舎管理の
防災車が更新されました。
今回新しくなった防災車
は赤色回転灯及びサイレン
が装備され、災害時の緊急
走行、各種予防運動等、幅
広く災害・予防活動に使用
されます。



5-1-4 上藤島



5-3-3 上荒俣



平成 21 年度 藤島方面隊事業予定	
期日	事業内容
4/3	辞令交付式
4/9～22	春季火災予防運動
4/19	初任消防団員研修会
5/24	春季消防大演習 (藤島体育館駐車場)
7/12	藤島方面隊 消防操法大会
8/2	操法庄内支部大会
9/5	藤島地域総合防災訓練 (藤島地区)
11/9～15	秋季火災予防運動
1/24	無火災安全祈願祭 藤島地域消防出初式 (藤島公民館)

私たちが作りました!

■ 広報委員長

押井 一之

■ 広報委員

菅原 政美、阿部 知弥
松田 耕、池田 薫
渡部 秀明、池田 修一
太田 一彦、石向 弘樹
叶野 哲、伊藤 和久
栗本 隆司、大沼 泰和
井上 敦、成澤 正人
伊藤 輝子、阿部 美代
佐藤 勲(藤島分署)

【委員長からの一言】

この広報誌「ひのみやぐら」は、広報委員が協力して精いっぱい作りました。皆様から見ていただき、日頃の消防団活動の大切さと、今後の防災活動に對し役にたてればと思っております。(押井)

